

研究・調査報告書

報告書番号	担当
240	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Meanings regarding the use of alcohol in families of a Venezuelan poor community. ベネズエラの貧しい地域社会における家族飲酒に関する意味	
執筆者	
Castillo CO, Costa MC.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Rev Lat Am Enfermagem. 2008 Jul-Aug;16 Spec No:535-42.	
キーワード	
アルコール中毒、家族、公衆衛生、人類学 (文化)、看護	
要 旨	
<p>背景： この研究は、人類学の解釈に基づいた民族誌的な研究の結果である。</p> <p>目的： 貧しいベネズエラの地域社会における家族で不正飲酒がどのような影響を与えるかという事を明確にする事を目的と実施した。</p> <p>対象： 6つの家族から20人のメンバーを、本研究の対象とした。</p> <p>結果： 子供と親が持つ飲酒に対する意味付けの違いが明確になった。 子供たちは前向きな見解を示した一方、母は飲酒に関して許容が最も低い事が分かった。 意味付けは発散的というよりも、収束性であった。次のような概念が同定できた。それは大量飲酒、急性アルコール中毒、喜びであった。 パーティや喜びとアルコールを関連付ける事が、飲酒の主な動機であり、飲酒癖を変えるための主な障害である。</p> <p>まとめ： ふたつの意味が確認された。正常と病的な飲酒の間は非常に連続的であること、飲酒に依存する喜びの概念であること。</p>	